THE NAGASAKI 長崎日英協会会報

BUND

150トン電動ハンマーヘッド起重機は、明治42年(1909)12月、英国マザーウェル・ブリッジ社から輸入し、三菱造船所飽ノ浦の艤装岸壁に設置されたもの。110年を経た今も稼動を続ける現役の巨人。

三菱重工業(株)長崎造船所内の機械工場で作られたタービンや、船舶用プロペラといった製品や機材を吊り上げ・吊り下げし、船に積み込む役目を担っている。

写真:長崎大学附属図書館所蔵

2020・6
vol.23

2019年度理事会・通常総会・講演会開催

2019年6月17日（月）、ＡＮＡクラウンプラザホテル長崎グラバーヒルで、「2019年度長崎日英協会理事会・通常総会」を開催いたしました。総会には約40名が出席し、「2018年度の事業・決算報告」及び「2019年度の事業計画・予算」等が審議承認されました。

2019年度通常総会

総会終了後、学校法人長崎学院 長崎外国語大学 副学長 姫野 順一 氏に「画像・映像に見る長崎と英国 ～平戸・英学・外国人居留地～」と題しご講演いただきました。姫野氏は経済学史とともに古写真を中心とする長崎学を専門としており、大変珍しい古写真をふんだんに使って、「幕末のころ大きく変化した日英関係」や「日本の英語教育の始まりは、長崎だった」などとても興味深いお話をしていただきました。

講師の姫野順一氏

講演会の様子

駐日英国大使館ナオミ･デイビス参事官来訪

2020年3月4日(水)、駐日英国大使館ナオミ・デイビス経済金融担当参事官が来崎され、長崎日英協会小川洋会長を訪問されました。

ナオミ･デイビス参事官は、長崎経済について関心をもっておられ、「いまの長崎が抱える様々な問題を解決するためにはどのようなことが必要なのか」、また「どのようにして少子高齢化問題に向き合うべきか」などについて英国の事例も交えて意見交換をされました。

ナオミ･デイビス参事官と小川会長

ラグビーワールドカップスコットランド代表チーム歓迎レセプションに出席

2019年9月12日（木）、ホテルニュー長崎で、長崎市ラグビーキャンプ誘致委員会主催「ラグビーワールドカップスコットランド代表チーム歓迎レセプション」が開催されました。
長崎市でキャンプ中のスコットランド代表チームの「歓迎レセプション」には、田上市長をはじめ市内のラグビー関係者約300人が出席しました。出席者は選手たちと親しく歓談し、一緒に写真を撮るなど楽しい交流が行われました。また、長崎市民の有志130名による「フラワー・オブ・スコットランド」の合唱も行われ、会場は大いに盛り上がりました。
グレガー・タウンゼントヘッドコーチは「長崎市は練習の環境も生活面のサポートもすべてが素晴らしく、心から感謝している」と挨拶されました。
当協会からは、小川会長と高橋事務局長が出席しました。

第40回グラバー顕彰式に出席

2019年9月14日（土）、グラバー園で、長崎市主催「第40回グラバー顕彰式」が執り行われました。式典では田上長崎市長をはじめ、英国と親交のある団体の代表者、そして今年は長崎市でラグビーワールドカップの事前キャンプ中のスコットランドラグビーチーム関係者が出席し、在りし日のグラバーを偲び献花を行い、その功績を称えました。その後バグパイプの演奏や居留地男声合唱団による歌声も披露されました。当協会からは高橋事務局長が出席しました。

クリスマス夜会 2019 開催

ジョン・C・テイラー首席領事

演奏の様子

プレゼント抽選会

2019 年 12 月 5 日（木）、ＡＮＡクラウンプラザホテル長崎グラバーヒルで「長崎日英協会・長崎日米協会合同クリスマス夜会 2019」を開催いたしました。

今年で 11 回目となる本パーティーには、在福岡米国領事館ジョン・C・テイラー首席領事、ユキ・近藤・シャー広報担当領事を始めＡＬＴやＣＩＲなど過去最高の約 150 名の皆様にご参加いただきました。パーティーは、長崎日米協会宮脇雅俊会長の挨拶で開会し、ジョン・C・テイラー首席領事に来賓を代表してご挨拶をいただきました。長崎県内で音楽活動されている下条様・奥田様・濵口様 3 名によるクリスマスソングの演奏や毎年恒例のプレゼント抽選会も行われ、会場は大いに盛り上がりました。また、今年は長崎大学多文化社会学部の学生 5 名にボランティアスタッフとして、会場内の通訳や抽選会のサンタ役などをお手伝いいただきました。美味しい料理と美味しいお酒で終始和やかな雰囲気の中、今年も一足早いクリスマスを楽しみました。

ながさき異文化ちゃんぽんフェスタに出展

賑わう日英協会ブース

グラバーパイプバンドの演奏

2020 年 1 月 18 日（土）、長崎ブリックホールで長崎市主催「ながさき異文化ちゃんぽんフェスタ」が開催されました。さまざまな国の文化に対する理解を深めることを目的としたイベントで、市内の国際交流団体など 7 団体がステージで舞踊や楽器演奏を披露し、18 団体がブースで外国文化の紹介や遊びの体験等を行いました。

長崎日英協会はグラバーパイプバンドと協力して英国の文化について紹介しました。当協会は、毎年恒例のイギリスに関して出題するクイズコーナーや紅茶とお菓子のプレゼントなどを行い、グラバーパイプバンドは、バグパイプの演奏やキルトの試着体験などを行いました。この日の来場者は９００人を超え過去最高の賑わいとなりました。

第 28 回長崎県高等学校英語スピーチコンテストに後援

2019 年 10 月 5 日（土）、長崎県立佐世保南高等学校で「第 28 回長崎県高等学校英語スピーチコンテスト」が開催されました。大会は、県内各地から 18 名が参加し、第 1 部（海外滞在未経験者）と第 2 部（海外滞在経験者）に分かれて日頃の成果を発表しました。

【審査結果】

《 第 1 部 》

第 1 位　安樂結夢さん（聖和女子学院高等学校 2 年）

第 2 位　ムニーズ・アドリアーネさん（長崎南高等学校）

《 第 2 部 》

第 1 位　廣里志穂さん（長崎北陽台高等学校）

【安樂結夢さんの感想】「Gender Equality in Japan」

スピーチに乗せた私の思いが一人でも多くの人に届くようにと、先生方のご指導の下、大会までの練習を頑張りました。それが結果に結びついたことを嬉しく思います。貴重な経験をさせて頂き、多くのことを学ぶことが出来ました。今後の活動に活かしたいです。

【廣里志穂さんの感想】「Power of Diversity」

今回、私は初めて九州大会に出場しました。各県大会を勝ち抜いてきた生徒が集まって、自分のスピーチ（世の中の問題点）を発表する場でした。県大会の倍以上の観客がいる中で、どの生徒のスピーチもとても上手で、かなり緊張しました。しかし、本番では今までで一番自分らしいスピーチができたのでよかったです。今回の経験で見つかった弱点を克服し、今後の学校生活に生かしていきたいと思います。

第 12 回長崎外国語大学英語ボキャブラリーコンテストに後援

2019 年 12 月 14 日（土）、長崎外国語大学で「第 12 回長崎外国語大学英語ボキャブラリーコンテスト」が開催されました。16 校、48 名の高校生が参加し日頃の英語学習の成果を発表しました。

【審査結果】

第 1 位　精道三川台高等学校

第 2 位　久留米大学附設高等学校

【精道三川台高等学校の感想】

・単語を覚えるきっかけになった。

・英和辞典と英英辞典のニュアンスの違いがよく理解できた。

【久留米大学附設高等学校学生の感想】

・単語学習のよい機会となった。

・準優勝できてよかった。楽しかった。

第７回エリザベス・ラッセル杯英語スピーチコンテストに後援

活水女子大学国際文化学部英語学科教授　狩野暁洋

2019 年 10 月 12 日（土）、活水女子大学東山手キャンパスで「第７回活水女子大学エリザベス・ラッセル杯英語スピーチコンテスト」が開催されました。

【審査結果】

第１位　西村祐香さん（九州ルーテル学院大学人文学部・人文学科４年）

第２位　小川莉歩さん（活水女子大学国際文化学部英語学科２年）

第３位　樋田奨平さん（青山学院大学国際政治経済学部国際経済学科２年）

今年のスピーチコンテストのテーマは、「グローバル社会の一員として考える」でした。

本学は 2014 年度より国連アカデミックインパクトに参加しており、国連が掲げる原則の内容に沿うスピーチを募集しました。事前審査を通過した出場者たちが優勝を目指し、下記のような素晴らしいスピーチを披露しました。

【西村祐香さん】「Education Changed My Life and Now It’s My Turn to Change Lives」

西村さんはカナダに留学した際に、英語で自分の考えを伝えることのできる喜びを体験し、その思いを英語教員になって若い人たちに伝えたいという抱負を語りました。英語・内容・伝達力の評価項目全てにおいてバランスよく高得点を獲得し、見事優勝を果たしました。

【小川莉歩さん】「What Can We Do?」

小川さんは高校の修学旅行でベトナムを訪れ、発展途上国の貧困に衝撃を受けました。グローバル社会の一員として、貧困に喘ぐ人たちが当たり前で幸せな暮らしができるように手を差し伸べたいという自身の抱負を語り、準優勝を獲得しました。

【樋田奨平さん】「Anger for Justice」

樋田さんは、少年時代いじめにあった時、知り合いの人が偶然その現場に遭遇していじめっ子たちを撃退してくれたという経験をもっています。自身のそのような体験から「怒り」の感情は社会的正義を遂行する手段となり得るという見解を豊かな表現能力を用いて聴衆に伝え、３位を獲得しました。

第 14 回長崎県高等学校英語ディベート大会に後援

2019 年 10 月 12 日（土）、長崎県立諫早高等学校で、「第 14 回長崎県高等学校英語ディベート大会」が開催されました。「日本国の労働時間について」をテーマに 9 校 10 チームが参加し議論しました。

【審査結果】

第 1 位　佐世保北高等学校

第 2 位　長崎西高等学校

【佐世保北高校の感想】

○ディベートで努力の大切さを学びました。チームメイトの足を引っ張らないよう、またチームに貢献するために毎日準備や練習を続けました。辛い日々が続いても努力し続ける「辛抱強さ」を養うことができました。辛い時にはいつも仲間が支えてくれ、一人でできないことでも仲間がいればできることがあります。社会問題や英語を学ぶことができたのはもちろんですが、それ以上に精神面で大きなものを得ることができました。このような経験ができて私は恵まれていると感じました。（２年女子）

○高度な英語を聞き取ることはもちろん、その英語に対して即座に考え自分の主張を英語で言うというハイレベルな活動に最初は不安を抱いていましたが、練習を積み重ねることでやりがいを強く感じるようになりました。また、九州、全国と進むごとに自分とは比べ物にならないくらい高レベルの英語力の高校生と出会い、自分の英語力を上げるべくもっと英語の勉強にいそしまなければならないと実感しました。今では、ディベートをできる時間がとても楽しく、終わったことがとても悲しいです。（２年女子）

○ディベートを通して準備から計画的に取り組む力、継続力が身に付きました。また、自分の英語力が足らないことを痛感しました。来年は今年以上に継続して準備をし、一生懸命頑張りたいです。（１年男子）

第 6 回活水女子大学高校生英語プレゼンテーションコンテストに後援

2019 年 12 月 21 日（土）、活水女子大学で「第 6 回活水女子大学高校生英語プレゼンテーションコンテスト」が開催されました。

【審査結果】

第１位　石田とねりさん（活水高等学校２年）

第２位　緒方楓佳さん　（諫早商業高等学校３年）

第３位　古賀七海さん　（活水高等学校２年）

【石田とねりさんの感想】

私は、プラスティックごみについて調べ、環境汚染を防ぐために自分たちに何ができるのかを考えました。プレゼンテーションの際には、話すだけでなく伝えることを意識しました。普段から疑問に思っていることを調べて発表することができてよい機会になりました。

～長崎の英国人紹介～

こんにちは！ラッグ・エヴァンです

こんにちは！私の名前はラッグ・エヴァンです。南イギリスにあるワイト島という島の出身です。2017年からイギリスのオックスフォード・ブルックス大学で日本語と日本文化を勉強しています。現在は、留学生として長崎大学でJLCP（日本語･日本文化プログラム）を受講しています。

私が日本に興味を持ったきっかけは、日本の映画です。初めて邦画を観た時に日本の文化や言語が面白いと思いました。伝統的な芸術と美学にも興味を持ちました。学べば学ぶほどもっと知りたくなったので大学での専攻を日本語と日本文化に決めました。大学では、イギリスに留学した日本人に出会って、すぐに仲良くなりました。この専門を選んでよかったです。

日本での留学先をどこにするか考えている時、長崎は日本の中で一番住みやすそうだと感じました。すぐそばに海があり、物価があまり高くないからです。また、私の故郷に似ているとも思いました。私は、田舎の景色が大好きです。長崎に住んでいると、田舎の風景を見に行くことが簡単にできるので、友達と一緒に長崎の郊外にも時々出かけています。長崎は本当に綺麗なところだと思います。長崎を選んでよかったです。

日本に住んでいると毎日がとても楽しいです。たくさんの友達ができて素晴らしい思い出をたくさん作ることが出来ました。
また、びっくりしたこともありました。熊本で民泊をしていたら、突然、熊本のテレビ局が取材にきてニュース番組に出たのです。私にとって初めての経験でしたが、とても嬉しかったです。

今年の夏、日本語能力試験N3級に合格できるよう一生懸命勉強しています。そして残された日本での時間を充実させたいと思っています。

新規会員募集中!

長崎日英協会では新規入会の会員を募集中です。会員の皆さま方の中でご紹介いただける方がいらっしゃいましたら是非ともご加入をお奨めいただきますようよろしくお願いいたします。

年会費　個人会員　　5,000円
法人会員　　10,000円

編集・発行/長崎日英協会（株式会社長崎経済研究所内）
住所：〒850-0861　長崎市江戸町6番5号　江戸町センタービル5階
担当者：高橋・島田
TEL:095-828-8859　FAX:095-821-0214